



# 学生の海外渡航に伴う危機管理 について

2014.11.28

国際部 国際教育企画課

兼 留学センター

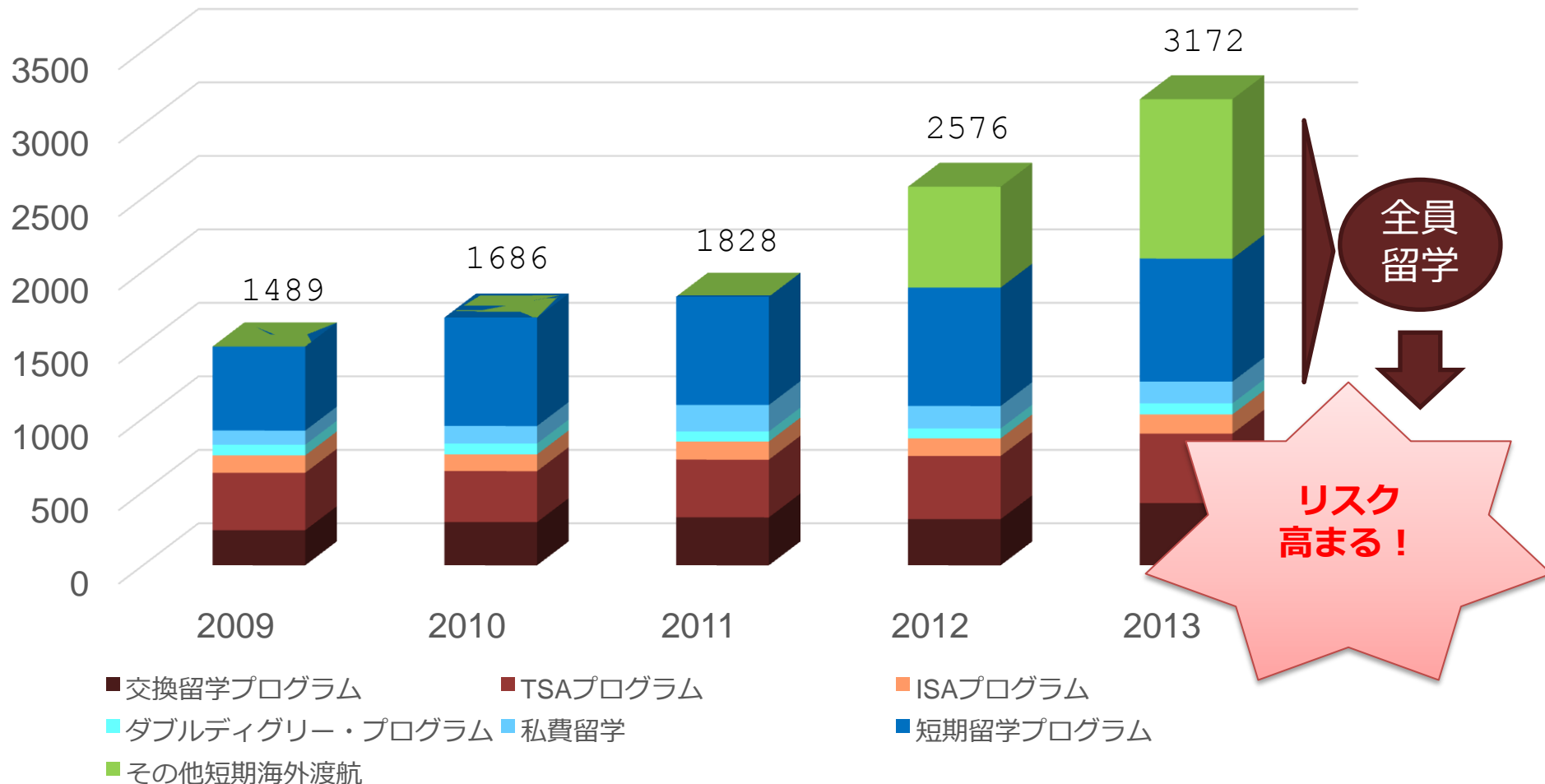
眞谷国光 (まみやくにみつ)



WASEDA University

# 1. 海外留学推進

海外への留学生数の推移



# 2. 危機管理体制



**大学指定海外旅行保険**  
(+ 事故対策費用保険)

**東京海上日動火災保険株式会社と契約**

- 包括契約で割引適用
- 自動でサポートデスク加入

**インターナショナルアシスタンス株式会社と契約**

- 365日24時間海外から電話相談可能
- 日英対応

**株式会社PLATFORM JAPANと契約**

- 留学に行く学生は携帯必須
- レンタル料無料

**危機管理基本体制**

**早稲田大学サポートデスク**



**海外用携帯電話**



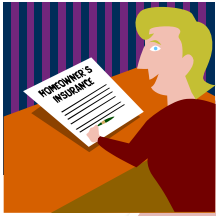


## 2. 危機管理体制



大学指定海外旅行保険  
(+ 事故対策費用保険)

| 担保項目          | 補償金額    |
|---------------|---------|
| 傷 害 (死亡・後遺障害) | 3,000万円 |
| 疾 病 (死亡)      | 3,000万円 |
| 治療救援費用        | 1億円     |
| 応急治療・救援費用     | 300万円   |
| 留学生賠償責任       | 1億円     |
| 留学生生活用動産      | 30万円    |
| 航空機遅延費用       | 2万円     |
| 緊急一時帰国費用      | 100万円   |
| 航空機帰宅手荷物遅延等費用 | 10万円    |



## 2. 危機管理体制



**大学指定海外旅行保険**  
(+ 事故対策費用保険)

- 指定海外旅行保険の適用範囲の拡大

| 海外渡航形態               | 加入   |
|----------------------|------|
| 大学間協定留学              | 従来より |
| 箇所間協定／私費留学           | 従来より |
| 休学での留学               | 従来より |
| 正規授業の一環としての海外渡航（ゼミ等） | 従来より |
| 海外の学会発表／研究随行（教員引率）   | 追加   |
| 学生の海外研究活動            | 追加   |
| 海外インターンシップ（大学主催）     | 追加   |
| 海外ボランティア（大学主催）       | 追加   |

## 2. 危機管理体制



早稲田大  
学サポ  
ートデスク



海外旅行保険の請  
求方法を知りたい

近くの病院を紹介  
してほしい

医療通訳が要る

キャッシュレスで  
受診したい



持ち物を盗難された  
持ち物が破損した

ホテルの風呂を溢れ  
させてしまった

その他海外生活全般に  
関する相談が可能  
(学生・保証人より)

## 2. 危機管理体制



早稲田大  
学サポ  
ートデ  
スク

- 危機管理の最新情報を毎週配信  
(東京海上⇒早稲田大学)

### 【例】

香港：【デモ・暴動】「占中運動」に対する注意喚起

米国：【感染症】エボラ出血熱感染者の発生

フィリピン：【テロ】イスラム過激派によるドイツ人殺害予告

欧州：【テロ】「イスラム国」空爆への参加表明

西アフリカ：【感染症】エボラ出血熱感染の拡大 等



海外用  
携帯電話

## 2. 危機管理体制



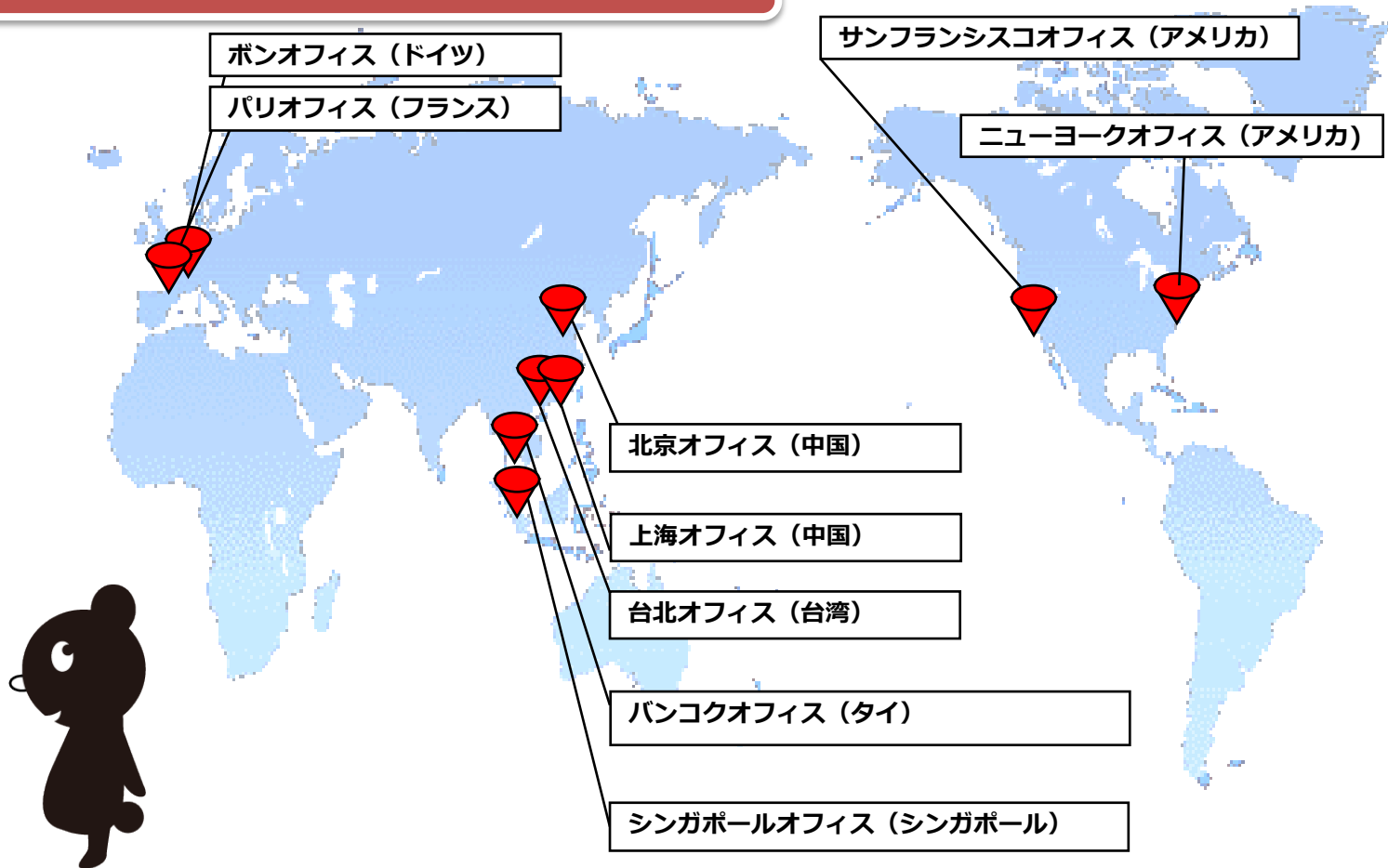
- 貸し出し料無料
- ローミングではなく現地通話料金
- 長期～短期留学まで加入は「義務」



# 2. 危機管理体制



## 海外オフィスのサポート



## 2. 危機管理体制



### 留学適性検査

- 海外におけるトラブルを未然に防ぐ目的
- 学生が自身の行動特性を知る
- 心理学による統計分析に基づくアンケート

### 留学ポートフォリオ

- 海外滞在先／連絡先のオンライン登録

# 3. 事例と課題



## 事例

- 異文化でのストレス、ホームシックから情緒不安定な状態
  - ⇒ 本人より、サポートデスクへ電話連絡
  - ⇒ 近隣の病院紹介、キャッシュレス手配により入院
  - ⇒ 近隣の海外オフィス担当者同伴で帰国

# 3. 事例と課題



## 課題

- 海外留学者数の拡大による対応件数の増加
- 大学間協定以外の形態の海外渡航による危機管理体制
- 留学ポートフォリオ上での情報管理強化



# まとめ



1. リスク管理会社との連携によるトラブル対応体制を構築していることが特徴
2. 将来の全員留学に向けて、保険等の既存の危機管理体制をさらに拡充していく方向性
3. オンラインの留学ポータルフォリオや、心理学に基づく留学適性検査の開発等新しい取り組みに着手





ご清聴ありがとうございました

